

都城市のGIGAスクール構想の実現に向けて

都城市教育委員会学校教育課

全国すべての小・中学校が対象となっている“GIGAスクール構想”のもと、都城市では、昨年度各学校の教室を無線LAN化し、児童生徒1人1台の学習用端末(クロームブック)を配付しました。

学校では、学習用端末(これ以降、「端末」と表現します)を活用した授業に取り組んでおり、変化の激しいこれから生きる子供たちに必要な資質・能力を育ててまいります。

また、今後は各学校において端末の持ち帰りを実施することにより、家庭学習においても活用を図ってまいります。今回、GIGAスクール構想の趣旨及び本市のGIGAスクール構想についてまとめましたので、御一読くださいますようお願いいたします。



“GIGAスクール構想”とは？

“GIGA”とは、Global and Innovation Gateway for All の頭文字をとったもので、「多様な子供たちが、誰一人取り残されることなく、個別最適化された学びの実現」のことを言い、国が進める教育施策です。

新型コロナウイルス感染症による全国一斉臨時休校を受けて、当初の計画が前倒しされ、一斉に整備しました。

都城市が導入している端末について

<端末>

小1～小3年:Lenovo I0e Chromebook Tablet
または、ARROWS Tab Q508

小4～中3年:Lenovo300e Chromebook 2nd Gen

<ソフトウェア等>

- ・ Google Workspace for Education Fundamentals
- ・ AI型ドリル教材“Qubena”(株式会社COMPASS)
- ・ Scratch(プログラミング学習ソフト)

我が国が目指す未来社会 Society (ソサイエティ) 5.0とは、どのような社会でしょうか？

これまでの社会

必要な知識や情報が共有されず、新たな価値の創出が困難



IoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、新たな価値が生まれる社会

これまでの社会

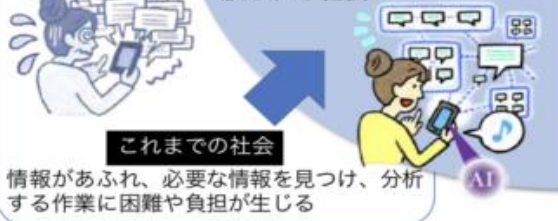
少子高齢化や地方の過疎化などの課題に十分に対応することが困難



少子高齢化、地方の過疎化などの課題をイノベーションにより克服する社会

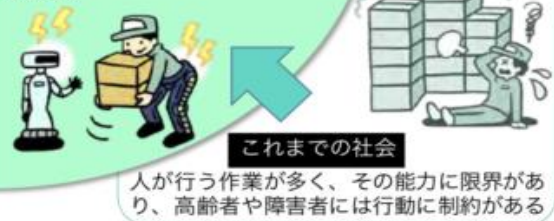
Society 5.0

AIにより、多くの情報を分析するなどの面倒な作業から解放される社会



情報があふれ、必要な情報を見つけ、分析する作業に困難や負担が生じる

ロボットや自動運転車などの支援により、人の可能性がひろがる社会



人が行う作業が多く、その能力に限界があり、高齢者や障害者には行動に制約がある

左の図は、内閣府が作成した資料です。今を生きる子供たちが、十年後、二十年後は、どのような社会になっているのかを想像したときに、今の子供たちに、どのような力を育てていかなければならないのでしょうか。

下の二次元バーコードから動画にアクセスし、ぜひ、お子様と一緒に視聴してみてください。



政府広報 Society5.0
「すぐその未来」
(約90秒の動画)



Society 5.0～デジタル
で創る、私たちの未来～
(約90秒の動画)

GIGAスクール構想により、学校ではどのような授業が行われていくのでしょうか。

子供たちに1人1台端末を整備したことによって、これまで子供たちがノートに書いていたことや黒板を使って指導していたことがすべてデジタルに変わるということではありません。アナログにはアナログのよさや教育的効果があり、デジタルにはデジタルのよさがあります。ICTを活用することの教育的効果については、今まさに各学校が試行錯誤しながら取り組んでいることです。下の図のように、これまで蓄積してきた教育実践にICTを組み合わせることで、学習活動の一層の充実を図ろうとすることが目的です。アナログとデジタルのベストミックスを目指しています。

これまでの
教育実践の
蓄積

×

ICT

=

・学習活動の一層の充実
・主体的・対話的で深い学び
の視点からの授業改善



端末の持ち帰りに 関する留意事項



子供たち一人一人に配付した端末を平常時に持ち帰らせることがスタートします。しかしながら、端末を自宅に持ち帰ることについては、不安を抱えていらっしゃるご家庭もあることと思います。以下の留意事項をお読みいただき、端末を持ち帰らせることについての、ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 端末を持ち帰ることの目的

本市が端末を持ち帰ることの目的は以下のとおりです。

- ◆ 学習の基盤となる情報活用能力（情報モラルを含む）を学校だけでなく家庭においても育てたいため。
- ◆ ドリル教材“Qubena(キュービナ)”による基礎学力の向上
- ◆ 病気や災害等により子供たちが学校に登校できなくなった非常時の想定として、オンラインによる授業等の扱いに慣れておくため。

2. 端末を活用した家庭学習の取組（例）

- ★ ドリル教材“Qubena(キュービナ)”による予習・復習
 - ※ 自動採点、自動集計、間違えた問題の解説
- ★ キーボードのタイピング練習
- ★ インターネット検索による調べ学習、情報収集
- ★ Googleアプリを活用した授業の復習、作業の続き等
- ★ NHK for schoolなどの学習番組の視聴
- ★ 長期休業中の資料の配付及び提出等



3. 端末利用のきまり

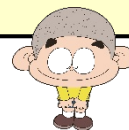
- ① 学習活動に関わる以外には使用しないこと。
- ② 端末所有の児童生徒以外が単独で使用しない。
- ③ 利用時間等のルールを定めること。
連続して使用する時間の目安は30分から1時間程度
- ④ 目と端末の画面との距離を30cm以上離し、寝る1時間前からはデジタル機器の利用は控えること。
- ⑤ アカウント(ID)とパスワードを他の人に教えないこと。
- ⑥ 写真を撮るときには相手や持ち主の許可をとること。
- ⑦ 端末を落としたりぬらしたりしないように十分に気を付けること。
- ⑧ 端末を持ち運びするときには電源を必ず切ること。

4. セキュリティ及び利用制限について

- ・アプリケーションのダウンロードはできない設定になっています。
- ・USBメモリからのデータ移行はできません。認識しない設定にしています。
- ・不適切なサイトについては可能な限り制限をかけていますが、すべてに網羅しているわけではありません。
- ・使用履歴はすべて残ります。
- ・Gmail及びGoogleチャットの使用はできません。
- ・管理者（教育委員会）が遠隔操作で利用を止めることができます。
(個別に相談があった場合のみ対応いたします。)

5. 端末のトラブルについて

- 紛失、盗難発生時には、端末を無効化できますので、速やかに学校へ御連絡ください。
- 端末の故障及び破損・汚損については、学校へ連絡し、破損の状況等をお知らせください。
なお、学校があらかじめ指導した使い方のルールに反した場合等の破損・汚損については、保護者に修理費用を負担していただくこともありますので、あらかじめ御了承ください。
- 夏休み中の学校閉庁日（8/10～8/16）は、学校教育課【23-2161 ※平日8:30～17:15】へ、ご連絡ください。夜間、休日及び祝日は対応できませんので、御了承ください。



端末の持ち帰りも含めてのGIGAスクール構想であり、全国的にも積極的に進められています。実際に利活用することで、子供たちがこれからのデジタル社会に主体的に参画できるよう、ご協力をお願いします。